
岐阜県立飛騨吉城特別支援学校

学校長 駒田 美奈

住 所 飛騨市古川町片原町8番127

電 話 0577-73-3600

1 会議の名称

岐阜県立飛騨吉城特別支援学校評議員会 (第1回)

2 会議の構成

◆委員

中切 智子	飛騨市発達支援センター長	
中畑 和弘	P T A会長	
中村 泰己	地域代表 (商店主・青龍会会長)	
藤田 計人	飛騨慈光会吉城山ゆり園園長	
水谷 兼太郎	地域代表 (殿町19区区長)	(委員名は五十音順)

◆学校側

駒田 美奈	校長
澤田 秀俊	教頭
坂垣内 徹	事務長
長瀬 朋彦	小中部主事
石原 元子	教務主任
清水 学	進路指導主事 (作業主任)

3 会議の目的

学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催

日 時：令和元年6月24日 (月) 10時00分～11時30分

場 所：飛騨吉城特別支援学校 図書室及び各教室

出席者：委員5人 学校職員6人

欠席者：なし

5 会議の概要

(1) 校長挨拶

(2) 自己紹介

(3) 授業参観

教頭の案内で参観し、各委員から感想や意見を述べていただいた。

意見1：初めて授業を参観した。雰囲気の良い授業であった。

意見2：初めて授業を参観した。子ども一人一人の実態が違うため、いろいろと大変だろうが、先生が工夫して授業をすすめていた。感動した。

意見3：授業の中でリハビリ的なことをやっていた。怪我などの事故はないか。専門の先生が担当しているのか。

学校：担任が行っている。PT（理学療法士）が非常勤で勤務してもらいアドバイスを受けているが、家庭や病院で受けているPT訓練を担当が見学させてもらい、情報交換したり、研修したりして実施している。

意見4：5月から放課後等デイサービスにて子どもたちの様子を見ているが、学校での違う様子を見ることができた。いろいろな場面で工夫されているため、勉強になった。

意見5：校内作業実習の見学では、普段の授業とは違う雰囲気の中で集中力が高まると思う。授業は、いろいろと工夫して行っている。

(4) 評議

①学校概要と方針、重点について

今年度の概要と方針、各学部の教育活動について説明した。

- ・本年度の児童生徒数は29人、13学級。教職員は34人である。
- ・開校から7年目で、今までは創世期と捉え、今後は一人一人の個性を大切に次のステップに向かって教育していきたい。
- ・「地域で育つ」ための活動では、地域の方々に育てられていることを実感している。
- ・「地域で学ぶ」ことに関しては、将来を見据えた学びを大切に、すすんで学ぶ姿を大切に育てていきたい。
- ・「共に生きる」ことに関しては、主体的な活動、行動を大切にし、自分で選択できるような環境を整えていきたい。

【小学部】

- ・「生活する力の育成」を目指したい。そのためのキーワードとして小学部重点の「学校生活に見通し」「自分の力で」「自分なりの方法」「思いを伝える」を大切にしたい。

【中学部】

- ・「人とかかわる力の育成」を目指したい。そのためのキーワードとして中学部重点の「できることを増やし」「仲間とかかわり」「役割を意識」「人とかかわり」を大切にしていきたい。

【高等部】

- ・重点の「豊かで丈夫な心身」は、身体だけでなく丈夫な心も育てていきたいことから掲げている。
- ・3つ目の具体重点は今年度加えた。昨年度卒業生6人のうち1人の進路が決定していないことから、早期からのキャリア教育を行いたいという思いや将来的に地域とのつながりが強くなるため、今から地域との関係を作っていきたいという願いから加えた。
- ・今年度卒業生4人も自分の進路希望がかなうよう支援していく。

②作業製品価格について

作業製品の価格設定に至る手順を説明し、価格が適正であるか検討した。

- ・それぞれの製品について、過去3年間の原材料費及び不良品数（ゆがみ、割れ、釉薬）などに市場価格を踏まえて価格を設定している。よって、原材料費と価格差の大きい製品もある。
- ・材料の布は原価が高く、量や素材によって原材料費が違う。サコッシュは、当初1,000円で販売する予定であったが、原材料費を抑えることができ、機能の違いによって2種（700円、800円）設定したい。トートバックとマスクケースは、新製品として登録したい。

意見1：いくつか購入している。近隣の住民の評判も良い。低価格で完成度も高いためこれらの価格で問題ない。

意見2：布製品の内ポケットが処理されている製品とされていない製品がある。その違いによって価格が違うと思った。

学校：内ポケット処理の件は、この評議委員会に間に合わせるために未処理なのかもしれない。担当者に伝え対応する。

意見3：年度の売れ残りはどう対処しているのか。

地元企業とのコラボ製品を販売すると面白いと思う。

学校：売れ残り（在庫）は、次年度に持ち越し、手続きし販売している。売れ残りがないように、見直しをもって製作、販売していきたい。

企業とのコラボ製品については、生徒数の関係で製作数が限られてくる。現在の製作数を維持しながら新しく取り組むには無理な面がある。しかし、良いアイデアをいただいたので、今後検討したいと思う。

各作業製品の価格について適正であると認めていただいた。

③働き方改革について

「教職員の働き方改革プラン2019」と、当校教職員の4月と5月の時間外時間数の記録から勤務状況を説明した。

- ・昨年度よりも職員が増えた分、業務を手分けしていることと、無駄を省くことができていると考えている。また、時間を有効に使う意識が高まったと思われる。しかし、今年度5月のデータを見ると、45時間超の職員が48.4%いるため、引き続き働き方を工夫したい。疲れた顔で子どもと向き合うことは良くない。教育の質は落とさず、時間外勤務時間数を減らす工夫をしたい。

意見1：今まで以上に子どもたちと接してもらい、より良い学校づくりをしてもらいたい。

意見2：重複障がい、知的障がい、病弱と多くの障がい種があり大変だが、この学校のあ
る意義があることを感じられた。

卒業生の進路決定もさることながら、卒業後の余暇活動も課題であると感じている。
ふれあいサロンの開設がされているが、今後も考えていかなければいけない。
支援されているだけでなく、奉仕活動など教育活動の中で、地域に主体的にかかわ
っていることは良いことだと思う。

意見3：働き方改革関連で、仕事の持ち帰りはないか。学校での時間が短くなっても、仕
事を持ち帰っていたら何もならない。

学校：仕事の持ち帰りについては、本日の資料の数値には表れていない。

オンとオフを切り替えて、自宅ではゆっくり休んでリフレッシュできるよう引き
続き取り組んでいきたい。

意見4：以前、飛騨市教育委員会事務局長として、この学校の開校準備に携わった。当時、
開校場所について様々な候補地案が出たが、現在、地域との交流がうまくいって
いることを考えると、この場所が良かったと思った。今後も自立できる子どもた
ちを育ててほしい。

意見5：MSJ・MSリーダーズ活動をはじめ、校外で活動している姿は素晴らしいと思
う。全体的に素晴らしい教育をしていると感じている。

6 会議のまとめ

校内を参観していただき、学校の様子や学校概要から、教育活動について妥当であると
評価していただいた。今後も児童生徒の自立と社会参加のために、保護者や関係機関、地
域の人々の理解と協力を得ながら教育活動を展開していきたい。

また、作業学習における新製品の価格は適正と承認を得た。

最後に、今後の予定として、①第1回学校評議員会記録の確認、②学校評価アンケート
の記入、③第2回学校評議員会（11/26）予定について連絡した。